



**WORLD COFFEE
RESEARCH**



コーヒーの確かな未来に向けて
共同研究を推進する

WCRが促進する、世界各国のコーヒー業界による投資。



コーヒー部門が業界にとって生産性が高く、生産者にとって収益力があり、世界にとって持続可能な産業へと転換できるよう、基礎段階における先進的な農業研究開発への投資を後押ししています。

We Connect





WCRは、コーヒー農業にもイノベーションが不可欠であるとの認識から、
2012年に世界各国のコーヒー業界により設立されました。

| 27か国

| 92のパートナー

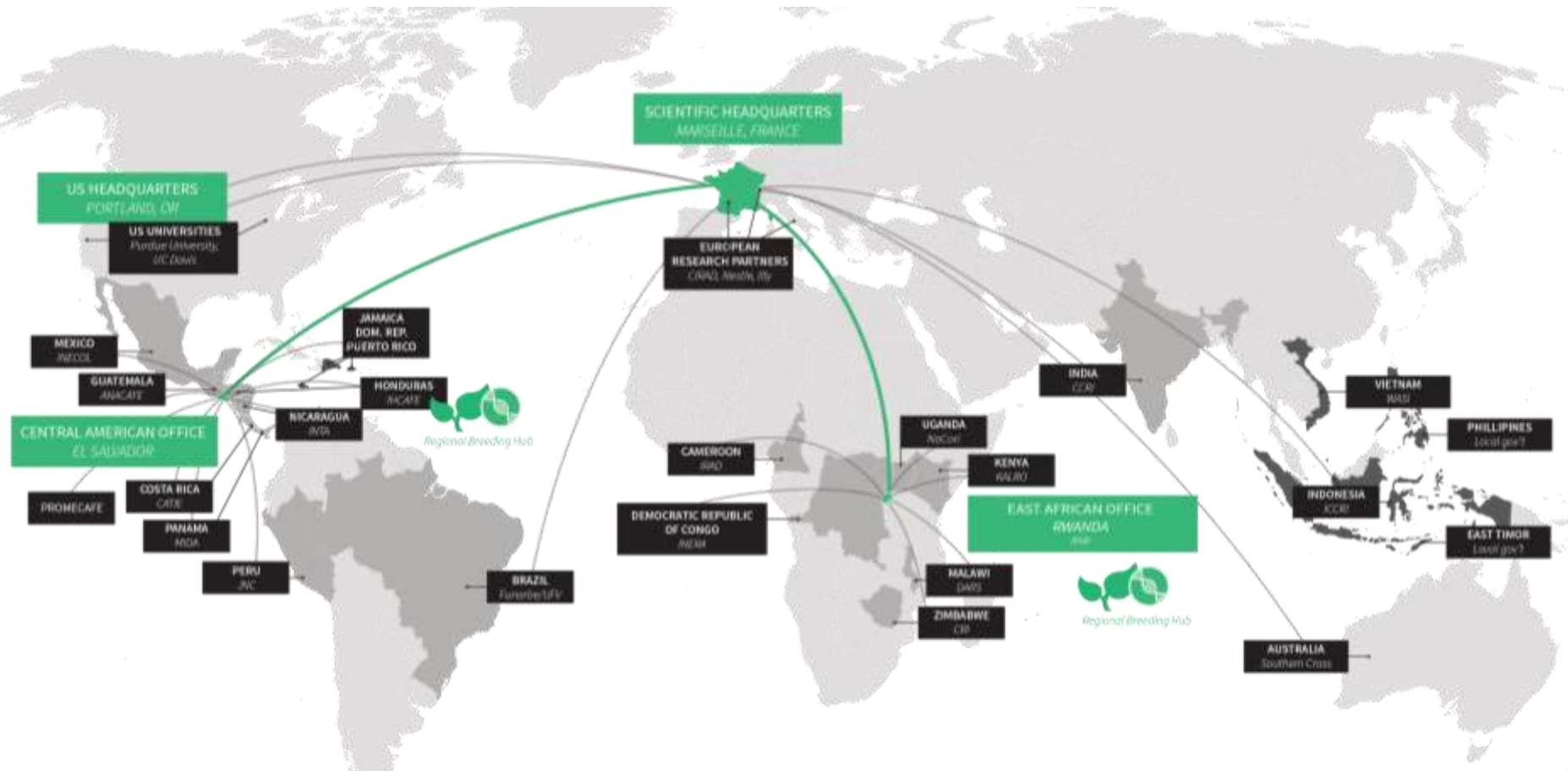
| 3か所の世界的拠点：

米国、フランス、エルサルバドル



WCRは、先進的な農業科学を基礎段階で世界規模において協調的な形でコーヒーに適用する、世界でただ一つの機関です。

WCRは、数十に上るコーヒー原産国の国立研究機関と、先端科学を研究する国際的な研究機関や大学と提携しています。





WCRの存在意義

岐路に立つコーヒー農業



気候変動が生産者とその関係者達にとっての前例のないプレッシャーとなる一方で、グローバル化はコーヒー生産者にとって、その他の生計手段を得る機会となっています。同時に、需要は増加傾向にあります。今後、現在の生産量をはるかに上回る量のコーヒーを生産するためのさらに多くの土地が必要となるでしょう。

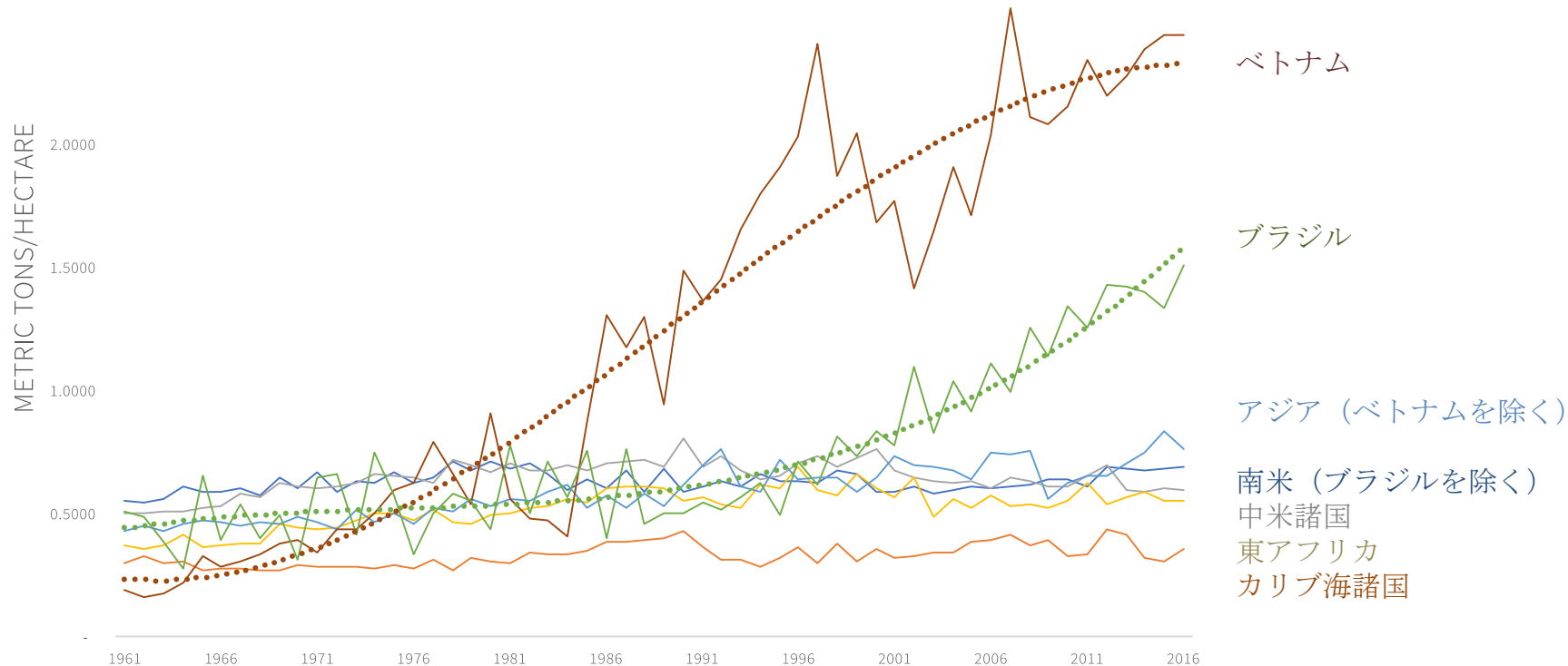


また一方でコーヒー原産地の豊かな多様性が、深刻な脅威にさらされています。

古くからの歴史を誇るケニア、コスタリカ、エルサルバドルなどの原産国は、この30年間で大幅な生産量の減少に見舞われています。



1960年以降の世界的な生産量の増加を推進してきたのは、ベトナムとブラジルの2か国でした。そのシェアは現在も増え続けています。その他の原産国は生産量を維持していくのがやっとの状態で、生産者は取り残されています。





生産者の減少と原産地の
多様性の低下 —
このような未来を回避する
には、世界各国のコーヒー
生産者が収益性を維持し、
生産を継続していけるよう、
大規模なイノベーションと
投資を通じた支援が不可欠
です。

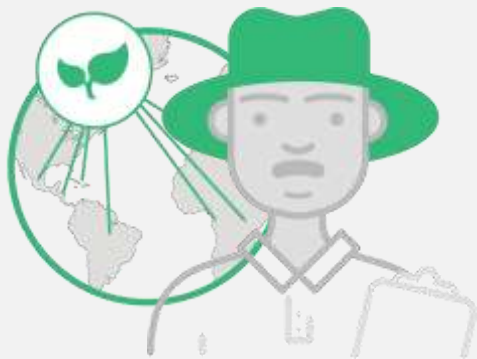


農業研究開発－農業実践手法と技術の改良に向けた継続的開発－
を通じて、これらの課題に対処するほかありません。
この150年間、研究開発こそが、収益性の高い生産にとっての
前提条件となってきました。

その効果



研究開発から生まれる
新たな知識と技術



普及活動を通じた
生産者への普及



農園への適用による
品質、収量、生産性
の向上



しかし、この200年間にわたって、コーヒー農業の研究開発と普及活動は、一貫性のない非効率的な状況にありました。

持続可能な部門に向けての不可欠な前提条件の欠如は、バリューチェーンの下流全体に影響を及ぼします。その結果、収量と品質の慢性的な低下、害虫や病気の蔓延、生産者の相次ぐ廃業が生じ、原産地の多様性とコーヒーの長期的な供給は脅威にさらされています。



実際に、コーヒーは、その世界的な経済的価値にもかかわらず、世界で最も研究が遅れ、革新性の低い作物の1つです。



UPOVに登録されている
イチゴは
3,442種に上る。



一方、
コーヒーは
52種しかない。

世界的に見て、イチゴの生産の経済的価値は
コーヒーの生産に比べて著しく低いにもかかわらず、
イノベーション成果として、**66倍もの数**の新たな
品種が生み出されています。

(訳注：UPOV：植物新品種保護国際同盟)

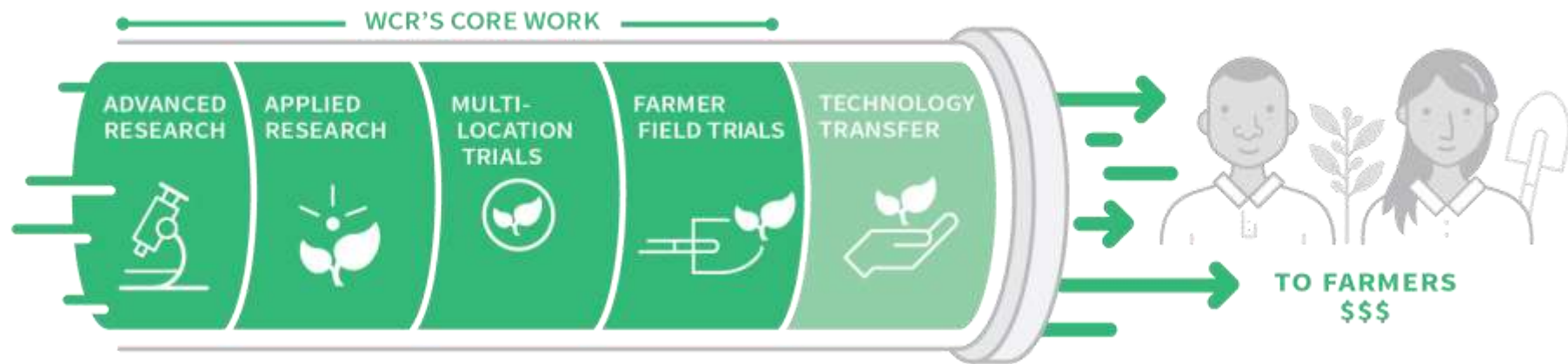


A man with a friendly smile, wearing a light blue button-down shirt, holds a small coffee seedling in a black plastic cup. He is standing in a greenhouse with a green mesh covering. The background shows rows of plants and the structural frame of the greenhouse.

コーヒーの研究開発への投資

コーヒーの確かな未来に向けたイノベーション

WCRのグローバル・イノベーション・パイプラインは、多元的に展開する急務の取り組みを通じて、農業研究開発を推進し、収益性、気候回復力、効率性、品質の向上を推し進めています。



農業研究開発が特に効果を発揮するのは、収益性の向上に重点を置いた場合です。

農業科学の進歩を活用すれば、コーヒーの収量、品質、気候回復力、そして生産者の生活を大幅に向上させることができます。

例えば、新たなF1交配種は、
以下を達成しています。



病気と害虫に対する高い耐性



22～46%の収量増加



90点以上のカップिंगスコア



気候回復力



単位面積あたりの収益向上



WCRでは、各国と提携し、カップクオリティの向上を目指しつつ、高収量で次世代の気候温暖化に対応するコーヒー品種の開発に取り組んでいます。

54の新種の開発

2か所の世界的品種改良拠点の開設

先進的な分子的アプローチ

スペシャルティ市場、プレミアム市場、一般市場のそれぞれに合わせた品種作り





生産者に知られてこそ、世界最高の品種は生産者
にとっても最高の品種となります。

世界初のグローバル・コーヒー品種カタログ
の開発



オンライン、フリー、オープンソース
varieties.worldcoffeeresearch.org

優れた苗木であってこそ、世界最高の品種
は生産者にとっても最高の品種となります。



WCRでは、遺伝的に純粋で健康な
苗木の生産を維持できるよう、
種苗場での実地指導を行っています。





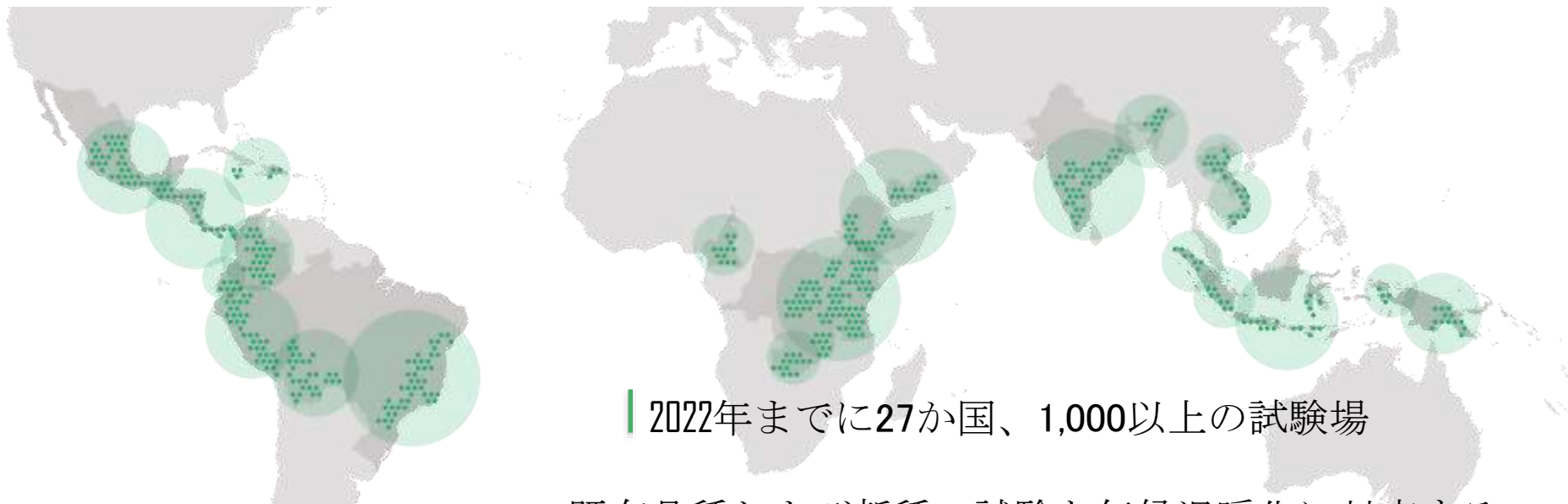
生産者が利用できてこそ、世界最高の品種は
生産者にとっても最高の品種となります。

国際的多地域品種実証試験を通じて、各国で
の現在最高の品種の利用を後押ししています。



22か国に
31の最高品種

さらに、各国の試験場を結ぶ国際的ネットワークを通じて、これまでにない世界的な研究を実施し、ベストプラクティスの推進、環境影響の最小化、生産者の収入の最大化の実現に取り組んでいます。

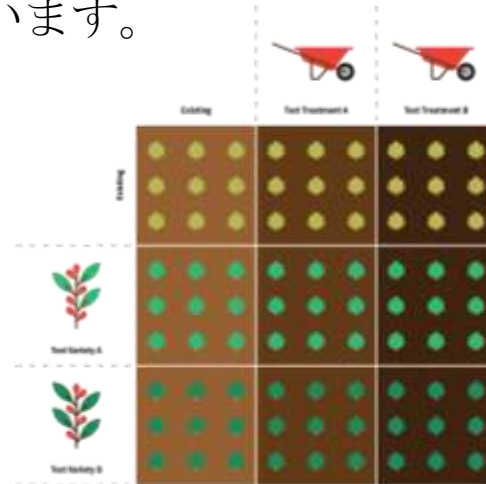


2022年までに**27**か国、**1,000**以上の試験場

既存品種および新種の試験と気候温暖化に対応する
農業実践手法の試験、病気と害虫の監視



グローバル・コーヒー・モニタリング・プログラムにより、生産者にとって最も収益性の高い品種と農業実践手法の組み合わせを探る試験を実施しています。



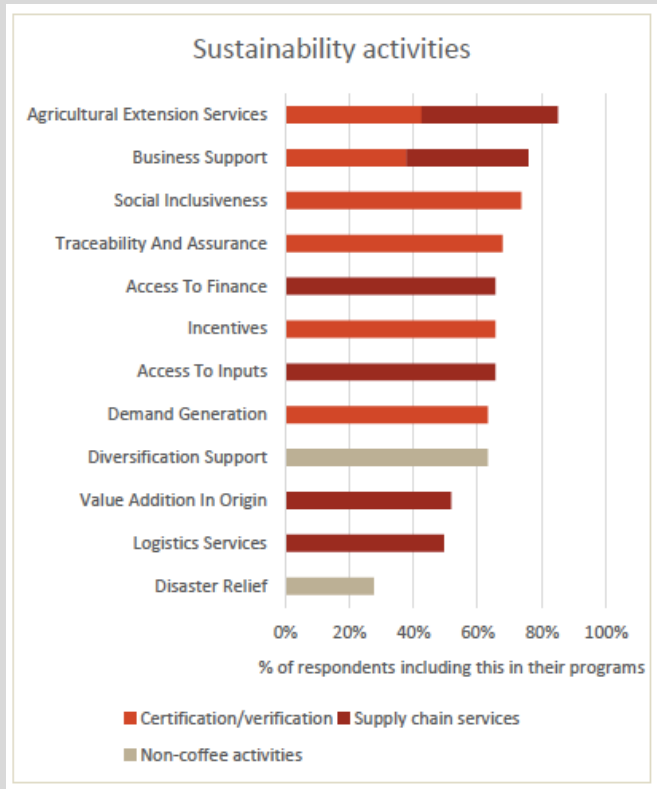
試験を通じて、生産者にとって効果的な事例に関する、これまでにないデータを取得します。

- 生産現場で生産者と協同
- 20か国、1000の試験場
- 研究(実地指導ではない)
- 多様性：農園の種別、生態地理学、高度、地勢





研究開発の適切な実施により、
生産者には経済回復力、収益性、
将来的展望がもたらされます。



農業研究開発にかかるコーヒーの未来

認証、普及事業、その他持続可能性への投資が成果を生み出すには、農業技術の革新が不可欠です。

不適切な技術と時代遅れの知識に立脚すれば、持続可能性への投資は必ず失敗に終わるでしょう。堅固な研究開発基盤があってこそ、これらの投資は最大限の可能性を発揮できるのです。

コーヒー部門の持続可能性への投資対象から抜け落ちる研究開発。2016年の投資総額は3億7,000万ドルであった。

単独の企業や国の力では、21世紀のコーヒー農業を変革することは不可能です。ソリューションには、基礎段階における協同研究が不可欠です。

一般に、最も効率的で最も測定可能な投資には、上流への投資も含まれます。

イノベーションは、既存の問題を解決するだけでなく、想像もしない新たな機会を生み出します。

農業研究開発の投資利益率の
世界平均値

コーヒー等の樹木作物



典拠：世界銀行世界開発報告（WDR）2008：
開発のための農業





WCRは、マルチステークホルダーのための、コーヒー業界で最大かつ最も技術的に進んだプラットフォームです。

基礎段階での協同研究開発を通じて、焙煎業者、小売業者、サプライヤーが従来にない形で、あらゆる生産者がリスクを削減し、より優れた農園作りを実践できるよう、直接の支援を提供しています。

必要時に、適切な量の適切な豆を、適切な焙煎機に投入するためのグローバル戦略にとって、こうした最先端研究は不可欠なものです。

WCRのメンバーは、活気ある持続可能なコーヒー部門の基盤を形成しています。

焙煎業者と小売業者

Allegro Coffee Company
Community Coffee Company
Counter Culture Coffee
Dunkin' and National DCP
Farmer Brothers
Illycafe
Intelligentsia
Jacobs Doughe Egberts (JDE)
Lavazza
Keurig Dr. Pepper
Massimo Zanetti
Key Coffee
Peet's Coffee + Tea
S&D Coffee Roasters
Taylors of Harrogate
J.M. Smucker Company

輸出入業者

Atlas Coffee Importers
Caravela Coffee
Descamex
DR Wakefield
EFICO Group
Falcon Specialty
Louis Dreyfus
OLAM
Sucafina
Sustainable Harvest
Sweet Maria's
Swiss Water
The Coffee Source

協力団体

Beck Flavors
Foodbuy
Fresco
La Marzocco
Pacific Espresso
Probat/Probat Werke
Specialty Coffee Association
Specialty Coffee Association of Japan
Wilbur Curtis

180社以上の企業がWCRの活動を支援しています。

参加には、

Greg Meenahanまでお問い合わせください。

greg@worldcoffeeresearch.org

または、オンラインから参加登録してください。

worldcoffeeresearch.org/donate

